

<p>【技術の名称】 ライジングD工法 ー粉体系機械攪拌式ブロック状浅層混合処理工法 ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-01号（更3） 性能証明発効日：2022年5月26日 性能証明の有効期限：2025年5月末日</p> <p>【取得者】 有限会社テクニカル九州 日本マーツ株式会社 山下工業株式会社 株式会社建商</p>
--	--

【技術の概要】

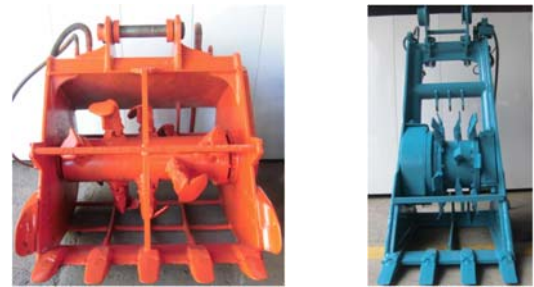
本技術は、独自に開発した攪拌バケットにより、現地土とセメント系固化材の粉体を攪拌混合して締め固めることで、ブロック状の改良体を築造する地盤改良工法である。本技術は、一旦改良対象層を地上に取り出して攪拌する工程を取り入れることで、支持地盤の確認、固化の妨げとなる有機質土や施工の障害となる転石、産業廃棄物および地中障害物の除去が可能である。



(a) スケルトンA型 (b) スケルトンB型

【更新の履歴】

新規：GBRC 性能証明 第13-01号（2013年5月20日）
 更新：GBRC 性能証明 第13-01号（更1）（2016年5月30日）
 GBRC 性能証明 第13-01号（更2）（2019年5月7日）
 GBRC 性能証明 第13-01号（更3）（2022年5月26日）



(c) ロータリーA型 (d) ロータリーB型

図1 攪拌バケット

【技術開発の趣旨】

本技術は、主に小規模建築物を対象とする地盤改良工法であり、ブロック状の改良体とすることで小さな設計基準強度での採用を可能とし、固化材使用量を低減してコスト縮減と環境負荷低減を図っている。また、前面に十字あるいは縦または横に平鋼を取り付けた攪拌バケットを用いることにより攪拌性能の向上を意図している。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「ライジングD工法 施工管理指針」に従って築造される改良体は、砂質土、粘性土およびしらすで 150kN/m²、ロームで 130kN/m² の設計基準強度を確保できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

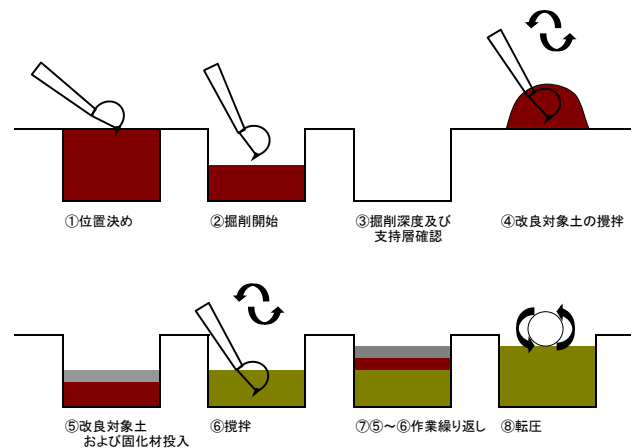


図2 施工手順概要図

【本技術の問合せ先】

ライジング工法協会 担当者：松田 晃治
 〒739-2622 広島県東広島市黒瀬町乃美尾 557-5

E-mail：office@rising-kouhou.com
 TEL：0823-81-2117 FAX：0823-81-2118